

令和7年度 大館市立成章小学校 学校評価書（前期・年度）

A 学校教育目標

地域と関わり 一歩踏み出し 自ら学ぶ子どもの育成

B 目指す姿

目指す子どもの姿

- ・ふるさとに愛着をもち、意欲的に「ひと・もの・こと」から学ぶ子ども
- ・学び合いを通して確かな学力を身に付ける子ども
- ・相手を思いやり、適切に関わる子ども
- ・健康的な生活習慣を身に付ける子ども

目指す教職員の姿

- ・地域を知り、地域の人から熱心に学ぶ教職員
- ・学校マネジメント力、実践的指導力、資質・能力の向上のために研鑽を積む教職員
- ・子どもに共感し、愛情をもって接する教職員
- ・心身共に健康で、前向きに行動する教職員

C 学校経営の重点

地域と関わる（ふるさとキャリア教育）

- 地域で自ら関わり学ぶ探究的な学習、体験活動
- 児童が自分たちの活動の様子を発信
- 地域の人と言葉を交わし元気と笑顔を届ける
- 将来の目標や生き方について視野を広げる

学びを深める（学習リーダーを活用した児童主体の共感的・協働的な学び合い）

- 各教科のねらいを明確にした単元構成、授業構想
- 思いや考えを適切な声量で説明する力、正確に聞く力、書き表す力の向上

心をみがく

- 児童の話合いによる合意形成、問題解決、協働

- （徳）○多様な交流活動による豊かな心の育成

体をきたえる

- 家庭、保育園、中学校と連携した健康的な生活習慣の確立

- （体）○学級担任と連携した食育、保健指導

- めあて、目的を意識した体力つくり

令和7年度 成章小学校 学校評価一覧

学校重点目標	学校教育目標	地域と関わる 一步踏み出し 自ら学ぶ子どもの育成														
		・ふるさとに愛着をもち、意欲的に「ひと・もの・こと」から学ぶ子ども					・学び合いを通して確かな学力を身に付ける子ども									
目指す子どもの姿	・手を使いやり、適切に体力を身に付ける子ども					・健康的な生活習慣を身に付ける子ども										
	・心をみがく(徳) ・体をきこえる(体)					・地域と関わる(ふるさとキャラリア教育)										
評価項目																
I 自主的・自律的な生活	学校関係者評価	自己評価A		学校関係者評価		評価指標		実践課題		主な取組						
		1 基本的な生活習慣	おおむね 良好	1 基本的な生活習慣	おおむね 良好	(1) 元気なあいさつ運動	(2) 集団の一員としての自覚	(3) 思いやの心の育成	(4) 互いを認め合い自己肯定感を高める活動	「あいさつ運動」(あいさつ三ヵ条、小中合同、家庭への呼びかけ、など) 「場に応じた正しい言葉遣い」に関する指導	3					
II 思いやの心・たくましい心	学校重点目標	おおむね 良好		おおむね 良好		3 広く豊かな心と自立心				自然的・自動的な委員会活動や系活動 集会活動の充実	3					
		お互いに認め合い高めて努力する豊かな人間性を育もうとしている。		お互いに認め合い高めて努力する豊かな人間性を育もうとしている。						道徳の時間を中心とした道徳教育の推進	3					
III 基礎学力	経営の重点	おおむね 良好		おおむね 良好		4 学習への取組				一人一人の活動の児童のやさしさを認めめる学校行事や各種集会「学び合いかード」を使った話しかけ・聞き方の指導	3					
		基礎的な学習習慣を身につけ、意欲的に学習に取り組み、学力向上させようとしている。		基礎的な学習習慣を身につけ、意欲的に学習に取り組み、学力向上させようとしている。						「学習のルール」の徹底 「学び合いかード」ノート指導	3					
IV 健康と体力	ふるさとキャラリア教育（～未来実践力の育成～）	おおむね 良好		5 健康的な生活習慣・食育		5 健康的な生活習慣・食育				計画的な朝学習・風の子テストの実施による学習習慣の定着	3					
		食や健康、体力への関心をもち、正しい生活習慣を形成しようとしている。		食や健康、体力への関心をもち、正しい生活習慣を形成しようとしている。						家庭学習の充実	3					
V 安全・安心	VI 組織運営	おおむね 良好		6 体力つくり		6 体力つくり				星説書・読み聞かせによる読み聞かせによる読み説書習慣の形成 図書室・学級文庫の整備 読書強調月間の実施	3					
		児童が互いに認め合い、安心して学校生活を送ることができるようになりしている。		児童が互いに認め合い、安心して学校生活を送ることができるようになりしている。						生活習慣レーティング調査 家庭への啓発(保健だより・給食便り)メティアコントロール時間の実施	3					
VII 実践力の育成	保護者・地域との連携	おおむね 良好		7 児童理解と組織的な生徒指導		7 児童理解と組織的な生徒指導				児童との面談の実施 ぬいもリカードはじめアンケートの実施 保護者との面談、連携 児童を語る会	3					
		学校課題を明確にし、特色的・組織的に推進されている。		学校課題を明確にし、特色的・組織的に推進されている。						選抜訓練 地震・火災 不審者 水害 管理職不在時の実施 連絡役員による安全指導 わらべ見守り隊活動 情報セミラルの指導	4					
VIII 保護者・地域との連携	経営の重点	良好		10 ふるさとキャラリア教育		10 ふるさとキャラリア教育				共感的・協働的な学び合いのあかるい授業 見方・考え方を明確にした授業 学習リーダーの活用 校内研修の充実(実技研など)	3					
		学校の取組が保護者や地域に浸透し、地域の教育力が有効に活用されている。		学校の取組が保護者や地域に浸透し、地域の教育力が有効に活用されている。						町探検・社会科見学 各施設との交流 朝子ちゃんジム体験の日(9月)ふるさと学習の日(祭典) 地域との開拓(ボランティア活動の充実)	4					
IX 地域との連携	経営の重点	良好		11 教職員の学校経営参画		11 教職員の学校経営参画				各指導部の方針や重点の提示 各指導部の提案の共通理解と実践	3					
		地域の特色を生かした教育課程の編成 体験活動の充実		地域の特色を生かした教育課程の編成 体験活動の充実						地域の特徴を生かした教育課程の編成 体験活動の充実	4					
X 地域との連携	経営の重点	良好		12 情報の受発信		12 情報の受発信				ホームページの定期的な更新 学校報(学年ごと) 校内掲示の工夫 ホームページの定期的な更新	3					
		地域コ-ディネーターの活用 行事や授業への協力要請(学校報の活用) 保・小・中連携の充実		地域コ-ディネーターの活用 行事や授業への協力要請(学校報の活用) 保・小・中連携の充実						ホーメール配信を活用したタイムリーな情報発信 町内掲示板の活用(ホースター掲示)	4					

D 前期学校評価

ア 児童の 状況	自己評 価Aと学 校関係者評 価の評価基 準の評価区分	きわめて良好	自己評 価Bの評 価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
		良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
		おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
		やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
		努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

I 自主的・自律的な生活

児童生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
明るくあいさつをし、規律ある落ち着いた生活をしながら、主体性や責任感を育もうとしている。	前 期 おおむね 良好	おおむね 良好	アンケート結果や児童の姿からあいさつや正しい言葉遣いに対する意欲が高まっていることが感じられる。大変よいことと思うが、職員のアンケート結果からは更に高いレベルを求めていることが分かる。 地域での子どもたちの様子を見ると、あいさつを自発的に行っている児童がいる一方、こちらからのあいさつに返すだけで自分から進んであいさつできない児童も少なからず見られる。あいさつや正しい言葉遣いについて、児童の意識を高める取組に期待したい。
	年 度		
自己評価の概要と学校の改善策	【前期→年度】 ◆あいさつの質の向上、場に応じた正しい言葉遣いの定着に向けて、「あいさつ元気アップキャンペーン」や「思いやりキャンペーン」と称して、児童会とタイアップしながら取組み、少しずつあいさつや正しい言葉遣いに対する意識が高まっている。今後は、更に児童の自主的・主体的な行動やよい習慣化が図られるように、運営委員会による全校への呼びかけ(おたより・集会)などを通して、全校で取り組んでいきたい。 ◆昨年度末の児童総会で決めた今年度の重点「あいさつ・元気・思いやり」を具現化するために、今年度は、委員会を4つに戻し、通年で活動している。各委員会の特色を生かしながら、児童の創造的かつ自主的・自発的な常時活動や集会が行われていくように、児童の意欲を喚起し、支援していきたい。		
	【後期→(次年度)】		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
1 基本的な生活習慣	(1) 元気なあいさつと場に応じた言葉遣い	「あいさつ運動」(あいさつ三ヵ条、小中合同、家庭への呼びかけ、など) 「場に応じた正しい言葉遣い」に関する日常指導	3	
2 集団生活・集団活動	(2) 集団の一員としての自覚	自発的・自治的な委員会活動や係活動 集会活動の充実	3	

評価点数について

4=よい がんばっている あてはまる 楽しい	3=だいたいよい ややあてはまる まあまあ楽しい
2=やや不十分 あまりあてはまらない あまり楽しくない	1=不十分 がんばり不足 まったくあてはまらない 楽しくない

【評価指標1】基本的な生活習慣

【評価指標2】集団生活・集団活動

【1・2のデータ】※上段:前期 下段:後期 表中の数値は%(端数処理の関係で100%丁度にならない場合があります)

	質問事項	4	3	2	1	0
		56	41	2	2	0
児童	【評価指標1】 学校、おうちや地元で、進んで元気なあいさつをしたり、返事をしたり、相手にあつた言葉づかいをしたりできましたか。					
	【評価指標2】 たてわりはんそうじ、委員会活動、学級の取り組みでは、せきにんをもって自分の仕事ができましたか。	67	26	7	0	0
	質問事項	4	3	2	1	0
		18	76	4	0	2
保護者	【評価指標1】 お子さんは家庭や地域でのあいさつ、場に応じた返事や言葉遣いができると思いますか。					
	【評価指標2】 お子さんは、学校行事や縦割り班活動、他学年との交流、係や委員会活動などによって、責任感や主体性が育ってていると思いますか。	28	70	0	0	2
	質問事項	4	3	2	1	0
		0	69	31	0	0
職員	【評価指標1】 「あいさつ運動」(校内、小中合同、家庭への呼びかけ あいさつ+α あいさつプラン 三ヵ条) 「元気なあいさつと返事」の日常指導					
	【評価指標2】 自発的・自治的な委員会活動や係活動 集会活動の充実	0	85	15	0	0

ア 児童の状況

II 思いやりの心・たくましい心					学校関係者評価委員のコメント
学校の状況	自己評価A	学校関係者評価			
互いに認め合い高め合いながら、夢に向かって努力する豊かな人間性を育もうとしている。	前期	おおむね 良好	おおむね 良好	ボランティア活動は、とても良い取組をしている。地域の施設に元気応援ボードをプレゼントしたり、花ボランティアのメッセージカード作ったりする活動により、児童の思いやりの心が育まれている。 自己肯定感を更に高められるように、また、更に思いやりの心を育てるため、お互いの良さを見つけ合う（キラッとさん紹介します）などの活動に継続して取り組んでほしい。	
	年度				
◆今年度も元気応援ボードのプレゼントや小中連携で行っている花ボランティアなど、地域応援活動に取り組んでいる。直接地域の方々とふれ合いながら行うボランティア活動は、相手が喜んでくださる表情や反応にふれることができ、充実感も大きい。子どもたちのやさしさや思いやりの心を育てるため、今後も施設の訪問や収穫物のプレゼント、クリスマスコンサートの実施などに取り組んでいく。 ◆生徒指導部の提案により全校で取り組んだ「キラッとさん紹介します」の取組は、一人一人のよさを見つめ、それを紹介し合うことで互いのよさを再認識することにつながった。また、自分では気付くことができない自分のよいところを友達から見付けてもらうことで、自己肯定感を高めることができた。このような活動に繰り返し取り組むことで、互いを認め合い、高め合うことができる子どもたちを育てていこう。 ○地域の方々との関わりについて、機会を捉え学年に応じた具体的な事前指導が必要になってくる。学団や全体でどのような指導をするのか、打ち合わせ等を活用し確認していきたい。 ○職員室や教室への入り方など礼儀作法や言葉遣いに関する事について、学期始めに学級で確認する時間を設けたい。また授業時間を含む学校生活全般における言葉遣いについて、生徒指導部と連携しながら、また、道徳の学習を通して「相手の気持ちを考える」との徹底を図りたい。 【年度(一次年度)】					

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
3 広く豊かな心と自立心	(3) 思いやりの心の育成	道徳の時間を中心とした道徳教育の推進 地域の方々とのふれあい、保・小・中の連携活動	3	
	(4) 互いを認め合い、自己肯定感を高める活動	学級活動の充実 自己目標の設定とふりかえり 個人目標の掲示 一人一人の活躍の場やよさを認める学校行事や各種集会	3	

【評価指標3】広く豊かな心と自立心

【3のデータ】 ※上段:前期 下段:後期 表中の数値は%(端数処理の関係で100%丁度にならない場合があります)

	質問事項	4	3	2	1	0
児童	【評価指標3】 友だちの気持ちを考えて、話したり行動したりできましたか。また、ちがう学年の友だちともなかよく活動できましたか。	56	36	8	0	0
	【評価指標3】 道徳の授業では、自分の生活をふりかえったり、友だちと話し合って自分の考えを深めたりできましたか。	54	36	10	0	0
保護者	【評価指標3】 めあてにむかってがんばったり、最後まであきらめずにがんばったりして、チャレンジできましたか。	54	33	7	7	0

	質問事項	4	3	2	1	0
保護者	【評価指標3】 なかよし登校や縦割り班清掃、地域の方々や施設との交流、元気応援ボードの贈呈、花ボランティア、保育園児との交流などは、思いやりの心の育成につながっていると思いますか。	52	48	0	0	0
職員	【評価指標3】 お子さんは、学習や生活、スポーツなどで一歩踏み出して挑戦したり、自分なりに目標を決めて取り組んだりしていると思いますか。	44	38	16	0	2

	質問事項	4	3	2	1	0
職員	【評価指標3】 道徳の時間を中心とした道徳教育の推進 地域の方々とのふれあい、保・小・中の連携活動	8	77	15	0	0
	【評価指標3】 学級活動の充実 自己目標の設定と振り返り 個人目標の提示 一人一人の活動の場やよさを認める学校行事や各種集会の設定	8	92	0	0	0

ア 児童の状況

III 基礎学力

児童生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
基本的な学習習慣を身に付け、意欲的に学習に取り組み学力向上させようとしている。	前期 おおむね 良好	おおむね 良好	工夫を凝らして日常の学習習慣をしっかりと身に付けさせようとしていることがよく分かる。ただ、職員のアンケートから分かるようにうまく共通実践ができないないので今後に期待したい。 学習への取り組み方にもう少し積極性がほしいと感じた。アンケート結果を見ると、児童の学習に対する意識が高いので、取組を工夫して、児童の自主性を高めてほしい。
	年度		
<p>【前期(→年度)】</p> <p>◆「学び方名人チェックカード」を活用し学習のルールの徹底を図ったが、学習の約束のうち、学習用具の準備やその置き方を徹底できなかった。そのため、学級担任に学期初めの1週間、チェックシートに記入したことを基に、学習中の児童の様子を評価させる。また、「学び方名人チェックカード」で児童に自己評価させる。この二つの取り組みから児童の実態と課題を明らかにし、より効果的な手立てを考え講じたい。さらに学習習慣観察週間を設定し、児童に上の学年の学び方を参観させ、自分たちの学び方と比較されることで、学び合いの仕方の向上を図りたい。</p> <p>◆読書活動について、図書館利用を呼びかけたり、図書館司書による読書指導・読み聞かせを行ったことにより、より本に親しむ児童が増えたと考える。今後は図書委員会を活用してさらに環境整備をしたり、読み聞かせや読書強調月間を行ったりしていく。また、メディア強調週間とも合わせて「家読のすすめ」にも取り組んでいく。家読を活かした音読などの取り組みも推奨したい。</p> <p>【年度(一次年度)】</p>			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
4. 学習への取組	(5) 基本的な学習習慣の定着	「学習のルール」の徹底 「学び合いカード」を使った話し方・聞き方の指導 ノート指導 ノート展	3	
	(6) 基礎学力の定着と向上	計画的な朝学習・風の子テストの実施による学習習慣の定着 家庭学習の充実	3	
	(7) 読書活動の充実	昼読書・読み聞かせによる読書習慣の形成 図書室・学級文庫の整備 読書強調月間の実施	3	

【評価指標4】学習への取組

【4のデータ】 ※上段:前期 下段:後期 表中の数値は%(端数処理の関係で100%丁度にならない場合があります)

	質問事項	4	3	2	1	0
		前期	後期	前期	後期	前期
児童	【評価指標4】 先生は、べんきょうがわかるように教えてくれたと思いますか。	75	23	2	0	0
	【評価指標4】 学校のべんきょう、おうちでのべんきょう、風の子テストのべんきょうなどをして、自分の力がついたと思いますか。	64	25	7	3	2
	【評価指標4】 読書タイムや、読み聞かせ、図書館の先生との学習によって、本にしたしむことができたと思いますか。	61	25	11	3	0

	質問事項	4	3	2	1	0
		前期	後期	前期	後期	前期
保護者	【評価指標4】 お子さんは、授業の内容が分かると言っていますか。	30	58	6	0	6
	【評価指標4】 お子さんは、授業のほか、風の子テスト、朝学習、家庭学習などによって、基礎・基本を身に付けていると思いますか。	28	62	4	0	6
	【評価指標4】 お子さんは、読書タイムや読み聞かせ、図書館司書を招いての授業などを通して、読書への関心を高めたり楽しさを味わったりしていると思いますか。	29	45	20	2	4

	質問事項	4	3	2	1	0
		前期	後期	前期	後期	前期
職員	【評価指標4】 「学習の約束」の徹底 「学び合いカード」を使った話し方・聞き方の指導 ノート指導 ノート展	8	54	38	0	0
	【評価指標4】 計画的な朝学習・風の子テストの実施による学習習慣の定着 家庭学習の充実	8	85	8	0	0
	【評価指標4】 昼読書・読み聞かせによる読書習慣の形成 図書室・学級文庫の整備 読書強調月間の実施	23	77	0	0	0

ア 児童の状況

IV 健康と体力				学校関係者評価委員のコメント
児童生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価		
食や健康、体力への関心をもち、望ましい生活習慣を形成しようとしている。	前期 おおむね 良好	おおむね 良好	メディアについては全国的に問題が拡大しているが、成章学区の子供たちは比較的安心な状況であることがアンケートの結果からうかがえる。生活リズムを整えることは学校の努力だけではできない。危機意識をもって保護者・教師が協力して対策を講じてほしい。 よくかんで食べることはとても大切である。子どものあごが小さくなっている傾向にあることもよく聞かれる。そのような視点からも“そしやく”に関する指導をぜひとも継続してほしい。	
	年度			
【前期(→年度)】 ◆メディアコントロールは、大分意識されてきているが取り組みに家庭による差が大きい。1回目の実施では、保護者と相談してルールを決めてもらい、メディアコントロール期間に取り組ませた。決めたことを守ろうと頑張る姿も見られたが、ルールの決め方にも家庭間の差があるように感じた。今後は、各家庭が設定したいルールについて担任が改善点やアイディアを提供する機会を設定、「家庭間の差」という課題解決を図りたい。 ◆食育は「そしやく回数30回」がなかなか定着しない。後期は、給食のはじめ10分間の黙食タイム「もぐもぐタイム」を徹底することで、しっかりそしやくすることを習慣付けたい。また、11月にある「いい歯の日」に合わせて、歯を大切にする掲示等を工夫し、児童のみならず各家庭の意識を高めたい。 ◆体力テストを提出し、結果を受け取ってからまとめるようにする。そして、本校が特に伸ばしたいところを基に体力つくりを行っていきたい。学年ごとに結果に差が出てくると思うので、「ここは」と思うところを体育の準備運動で継続的に取り組んでいくよう準備を進めたい。				
【後期(→次年度)】				

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
5 健康的な生活習慣・食育	(8) 健康的なライフスタイルの形成	生活習慣とメディアに関する実態調査 家庭への啓発(保健だより・給食便り) メディアコントロール週間の実施 養護教諭・主任学校栄養士による保健・安全及び食についての授業	3	
	(9) 望ましい食習慣の形成	食生活アンケートを活用した食育指導 よくかんで食べる意識付け 食育に関する全校掲示	3	
6 体力つくり	(10) 継続的な体力つくり	新体力テストの分析に基づいた体力つくり運動の実施	3	

【評価指標5】健康的な生活習慣・食育

【評価指標6】体力つくり

【5・6のデータ】 ※上段:前期 下段:後期 表中の数値は%(端数処理の関係で100%丁度にならない場合があります)

	質問事項	4	3	2	1	0
児童	【評価指標5】 早ね、早起き、朝ごはん、ゲームやメディアのやくそくを守るなど、きそく正しい生活 ができたと思いますか。	46	43	7	3	2
保護者	【評価指標6】 休み時間のマラソンや運動、スポ少、歩いて登校、歯みがきや手洗いをしたことで、体力がついたり健康にすごしたりできたと思いますか。	72	23	5	0	0

	質問事項	4	3	2	1	0
保護者	【評価指標5】 保健だよりや給食だよりは、お子さんの家庭での健康的な生活習慣(十分な睡眠・バランスのよい食事・メディアコントロールなど)の形成に役立っていると思いますか。	42	54	4	0	0
職員	【評価指標6】 全校マラソン、全校なわとび、歯磨き指導、個別の保健指導、メディアコントロール週間、給食かみかみ週間、保健や食育の授業などは、お子さんの体力つくりや健康的な生活につながっていると思いますか。	42	54	2	0	2

	質問事項	4	3	2	1	0
職員	【評価指標5】 生活習慣とメディアに関する実態調査 家庭への啓発(保健だより・給食便り) メディアコントロール週間の実施 養護教諭・主任学校栄養士による保健・安全及び食についての授業	15	85	0	0	0
職員	【評価指標5】 食生活アンケートを活用した食育指導 よくかんで食べる意識付け 食育に関する全校掲示	8	77	15	0	0
職員	【評価指標6】 新体力テストの分析に基づいた体力つくり運動の実施	0	62	38	0	0

イ 学校運営の状況

V 安全・安心				学校関係者評価委員のコメント
学校の状況	自己評価A	学校関係者評価		
児童が互いに認め合い、安心して学校生活を送ることができるようになっている。	前期 おおむね 良好	おおむね 良好	小中連携して安全教育を継続しており、児童にも安全意識が育っている。また、「考える避難訓練」の実施や町内安全マップの改訂により、職員・児童共に危機意識を高まっている。主体的に危機を回避しようとする行動につながっていることも分かる。これからの季節は、熊の被害から児童を守る対策もお願いしたい。 児童の困り感に対して、早期発見や未然防止は言うまでもなく、即時のチーム対応を取るための目配り、心配りが感じられる。	
自己評価の概要と学校の改善策	【前期(一年度)】 ◆ぬくもりアンケートやいじめアンケート、全校児童との面談の実施により、児童の学習や日常生活の困り感に迅速に対応したり、未然防止や早期発見につなげたりすることができた。また、学級担任と管理職を含めたチーム対応により、より細やかで個々に応じた対応をすることことができた。今後も児童の様子に目配り心配りを続けていきたい。 ◆あらゆる場面・状況を考慮した安全指導を今後も続けていきたい。そのために、場面や目的に応じた避難訓練や、集会での具体的な指導、生徒指導だよりによる児童や保護者への周知徹底を図っていきたい。交通安全教室や自転車通学については、自転車技能等、現在の児童の実態を十分考慮しながら、来年度に向けて検討したい。 ◆「考える避難訓練」を繰り返したこと、職員が危険を見たり児童や自身の安全を確保するための対応を工夫したりする意識が高まつた。また、5年ぶりに、町内安全マップの改訂を行った。改訂後のマップを全世帯(在校児童)に配布し、児童の安全・安心につなげたい。	年度		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
7 児童理解と組織的な生徒指導	(11) 児童理解と個に応じた支援	児童との面談の実施 ぬくもりカード・いじめアンケートの実施 保護者との面談、連携 児童を語る会 生徒指導だよりの定期的な発行	3	
8 安全教育と安全管理	(12) 地域や関係機関と連携した安全指導	避難訓練(地震・火災 不審者 水害 管理職不在時)の実施 登下校時における安全指導 わらべ見守り隊活動 情報モラルの指導 連絡メールを活用した安全に関わる連絡	4	

【評価指標7】児童理解と組織的な生徒指導

【評価指標8】安全教育と安全管理

【7・8のデータ】 ※上段:前期 下段:後期 表中の数値は%(端数処理の関係で100%丁度にならない場合があります)

児童	質問事項	4	3	2	1	0
	【評価指標7】 ぬくもりカード、いじめアンケート、先生との相談などによって、あんしんして学校ですごすことができたと思いますか。	62	26	7	3	2
保護者	【評価指標8】 交通安全教室、ひなん訓練、わらべ見まもり隊の活動などは自分のいのちを守るために役立ったと思いますか。	77	21	0	2	0

保護者	質問事項	4	3	2	1	0
	【評価指標7】 電話や連絡帳での連絡、PTA授業参観、個人面談などは、お子さんの学校での様子を知ったり、学校と家庭が連携したりすることにつながっていますか。	58	38	4	0	0
	【評価指標8】 交通安全教室、避難訓練、登校指導、わらべ見守り隊活動、生徒指導だよりの発行は、お子さんの安全や命を守るために役立っていると思いますか。	60	36	4	0	0
職員	【評価指標7】 先生方はお子さんの困りごとや悩みに耳を傾け、すぐ対応したり複数で関わったりしていると思いますか。	54	38	6	0	2

職員	質問事項	4	3	2	1	0
	【評価指標7】 児童との面談の実施 ぬくもりカード・いじめアンケートの実施 保護者との面談、連携 児童を語る会 生徒指導だよりの定期的な発行	23	69	8	0	0
	【評価指標8】 避難訓練(地震・火災 不審者 水害 管理職不在時)の実施 登下校時における安全指導 わらべ見守り隊活動 情報モラルの指導 連絡メールを活用した安全に関わる連絡	38	62	0	0	0

イ 学校運営の状況

VI 組織運営			学校の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
学校課題を明確にし、特色ある学校づくりが計画的・組織的に推進されている。	前期	良好	良好	学校教育目標の実現のため、組織として共通理解を図り、取組を進め、成果も現れていることがアンケートの結果からも明らかである。若い職員が多い中、学校経営への参画意識が高まっている。 少数精銳でチーム力向上に向けて取り組んでいる。今後は職員の負担が平準化されるよう、可能なことと難しいことを明確に判断してほしい。 人、もの、ことを生かした体験活動は、今後も成章の強みとして取り組んでいってほしい。			
	年度						
【前期(→年度)】							
<p>◆1学期は、今年度の研究を具現化するために、研究授業や日々の授業の中で各自が実践を積み重ねてきた。今後は、児童同士による学び合いを更に活発にしていくために、必要感のある課題提示と振り返り、学習リーダーの活用を推進していく。のために、授業づくりに活かせる校内研修やOJTを引き続き提案したい。</p> <p>◆地域の「人、もの、こと」と積極的に関わり、主体的に学ぶ姿を引き出すために、今年度は「自ら関わる」「地域の人と言葉を交わす」ことを重点に指導に当たっている。言葉による関わり合いは、児童相互の関係においても重要視されている部分である。「言葉を交わす必要性」「言葉を交わすよさ」を感じさせるためには事前指導を大切に行う必要がある。地域の「人、もの、こと」を生かした多くの体験活動は本校の強みであり、事前・事後の指導を充実させることで、さらに豊かな体験となるよう工夫していきたい。</p> <p>◆学校行事等の前に、グランドデザインを基に指導内容等を考える活動を設定したことで、若い先生たちも学級経営が学校経営に直結していることを理解できたようである。今後もその取り組みを継続し、職員の学校経営への参画意識を高めていきたい。</p>							
【後期→(次年度)】							
自己評価の概要と学校の改善策							

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
9 職員研修	(13) 授業改善・研修の充実	共感的・協働的な学び合いのある授業 見方・考え方を明確にした授業 学習リーダーの活用 校内研修の充実(実技研など)	3	
10 ふるさとキャリア教育	(14) 「人、もの、こと」との積極的なかかわり	町探検・社会科見学 各施設との交流 親子でチャレンジ体験の日(9月) ふるさと学習の日(祭典) 地域との関わり(ボランティア活動の充実)	4	
11 教職員の学校経営参画	(15) 明確な経営方針・施策の提示	各指導部の方針や重点の提示 各指導部の提案の共通理解と実践	3	
	(16) 特色ある教育課程の編成と実施	地域の特色を生かした教育課程の編成 体験活動の充実	4	

【評価指標9】職員研修 【評価指標10】ふるさとキャリア教育 【評価指標11】教職員の学校経営参画

【9・10・11のデータ】 ※上段:前期 下段:後期 表中の数値は%(端数処理の関係で100%丁度にならない場合があります)

	質問事項	4	3	2	1	0
		62	25	10	3	0
児童	【評価指標9】 授業のとき、自分の考え方や感想を発表して伝えあつたり、学級のみんなと学びあつたりすることで、考える力や発表する力がついたと思いますか。					
	【評価指標10】 かがやきプロジェクトやボランティア活動などをとおして、地いきのことを考えたり、地いきのためにできることをしようという気持ちになったと思いますか。	69	25	3	3	0

	質問事項	4	3	2	1	0
		50	48	0	0	2
保護者	【評価指標9】 授業で子どもたちが考えを発表したり話し合ったり、集会等で発表したりすることで、子どもたちは考える力や発表する力が付いていますか。					
	【評価指標10】 地域に出て「人・もの・こと」から学ぶ学習、地域に元気と笑顔を届ける交流活動、体験活動、ボランティアなどは、ふるさとへの理解や関心を深め、地域の一員としての意識を育てるのに役立っていますか。	48	48	2	0	2

	質問事項	4	3	2	1	0
		8	62	31	0	0
職員	【評価指標9】 共感的・協働的な学び合いのある授業 見方・考え方を明確にした授業 学習リーダーの活用 校内研修の充実(実技研など)					
	【評価指標10】 町探検 各施設との交流 親子でチャレンジ体験の日(9月) ふるさと学習の日(祭典) 地域との関わり(ボランティア活動の充実)	8	92	0	0	0
	【評価指標11】 各指導部の方針や重点施策の提示 各指導部の提案の共通理解と実践	0	100	0	0	0
	【評価指標11】 地域の特色を生かした教育課程の編成 体験活動の充実	46	54	0	0	0

イ 学校運営の状況

VII 保護者・地域との連携

学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
学校的な取組が保護者や地域に浸透し、地域の教育力が有効に活用されている。	前期 おおむね良好	良好	地域の方々の協力を仰ぎながら学校行事等の充実を図っている点が素晴らしい。児童が享受することと地域住民が享受することのバランスがよく、地域とのつながりは大館市でも随一と感じる。その中で、児童が一緒に活動することに楽しさを感じていることが更によい。 職員アンケートの結果を見ても学校からの情報発信は十分であると分かる。引き続き、地域や保護者の方々への呼びかけをお願いしたい。
	年度		
【前期(→年度)】 ◆ホームページの更新が滞ったことが多く反省している。 ◆昨年に引き続き、学校報に地域版のページを毎号掲載している。ほかに、行事ごとにポスターを作成し、PTA町内担当の協力を仰ぎ各町内掲示板で地域への周知を図っている。そのような取り組みの成果が徐々に上がってきてるので、今後も継続していきたい。 ◆参加してくださる地域の方は、昨年度より微増しているが、参加を繰り返す中で子どもたちと「馴染み」になりつつある。同時に、自前の器具を持参してボランティアの効率を上げようとするなど、意識の変化も見られる。参加してくださる方が固定化している傾向はあるが、工夫した呼びかけを継続して、より多くの方々を巻き込み、地域とのつながりをより深めたい。			
【年度(一次年度)】			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B
			前期
			年度
12 情報の受発信	(17) 定期的な情報の受発信	ホームページの定期的な更新 学校報・学年だより 校内掲示の工夫 メール配信を活用したタイムリーな情報発信 町内掲示板の活用(ポスター掲示)	3
13 地域の教育力の活用	(18) 地域人材の活用	地域コーディネーターの活用 行事や授業への協力要請(学校報の活用) 保・小・中連携の充実	4

【評価指標12】情報の受発信

【評価指標13】地域の教育力の活用

【12・13のデータ】 ※上段:前期 下段:後期 表中の数値は%(端数処理の関係で100%丁度にならない場合があります)

	質問事項	4	3	2	1	0
児童	【評価指標13】 学校行事、体験活動、クラブ、校外学習などで、地いきの人とかかわり、教えてもらったり、いっしょに活動したりするのは楽しかったですか。	80	11	7	0	2

	質問事項	4	3	2	1	0
保護者	【評価指標12】 学校は、教育方針や活動、子どもたちの様子を、様々な方法(PTA、学校報、学年だより、新聞やテレビ、ホームページなど)で保護者に伝え、保護者と連携して教育を行っていると思いますか。	44	50	4	0	2
	【評価指標13】 学校は、保育園や中学校と連携し、地域の方々や施設と協力しながら教育活動を行っていると思いますか。	64	28	4	0	4

	質問事項	4	3	2	1	0
職員	【評価指標12】 ホームページの定期的な更新 学校報・学年だより 校内掲示の工夫 メール配信を活用したタイムリーな情報発信 町内掲示板の活用(ポスター掲示)	38	62	0	0	0
	【評価指標13】 地域コーディネーターの活用 行事や授業への協力要請(学校報の活用) 保・小・中連携の充実	54	46	0	0	0